

ふくしま まなび 旅通信




開校式の様子

福田小学校の皆さん、九月に喜多方市で行われた農業体験と農家民宿はいかがでしたか？ 緊張と期待と不安が入り交じった開校式。これからどんな三日間が始まるのでしょうか！ 農業体験ではどんな思い出が残っていますもしかしたら、「ご飯が一番の思い出！」とい

うお友達もいるかも知れません。みんなで作業した後に、新鮮な野菜を使って作るご飯は格別ですよね。

農家の人は畑で取れた旬の野菜を使って料理をする

福田小学校の皆さん、九月に喜多方市で行われた農業体験と農家民宿はいかがでしたか？ 緊張と期待と不安が入り交じった開校式。これからどんな三日間が始まるのでしょうか！ 農業体験ではどんな思い出が残っていますもしかしたら、「ご飯が一番の思い出！」とい

うお友達もいるかも知れません。みんなで作業した後に、新鮮な野菜を使って作るご飯は格別です。

ので、それまで嫌いだった野菜の「本物の味」を知つて、食べられるようになつたという人もいっぱいいるんですよ。普段、当たり前のようになつた野菜を、それを一生懸命に作っている人の姿を見ることで、「食べ物を粗末にしてはいけない」と考えたり、「感謝して食べよう」という気持ちがわいたお友達が多いようです。



「これからどんな作業をするのかな？」



りんごの木の下で説明を聞く様子

りんご農園に行ってみると、りんごの周りの葉を取り、きれい色づくようになりんごを回して太陽の光を当てる作業をしていました。りんごが赤くなるのは太陽を浴びるからだったんですね。

ある農家では、小さな女の子も一緒に畑に出てきて農作業です。危なくないよう、手をつないでくれていたお友達もいます。

受入農家の人们にも感想を聞きました。

「富田小学校の皆さんに会えるのを楽しみにしていました。三日間は、あつという間に過ぎてしまいましたが、

皆さんと一緒に作業をしたり、ご飯を食べて、たくさん元気をもらいました。またいつでも喜多方に遊びに来てくださいね」と、再会をとても楽しみにしていました。

そして、農業体験を実施する前の出前講座では、皆さん真剣にお話を聞いてくれましたね。その時の様子を振り返ってみましょう。



「いただきます」と言

うあいさつにはどんな意味があると思いますか？

作ってくれた人に対する感謝の気持ちも勿論ですが、お米や野菜、お肉などは全て【生き物】です。生き物には【命】があり、私たちはその命をいただいて、いろいろなものに助けられて生きてています。

その命に「軽い」、「重い」はありません。人間も同じです。

農業体験を通して、【命の尊さ】を学んでほしいと願っています。

農業体験では、農作業の方法や目的を学ぶことも大切ですが、農家の人の生活そのものを知ることで、自分たちが毎日食べている食

材への思いを知ることが出来たり、人と人とふれあいが生まれます。喜多方市ではそのふれあいを大切に、「心とこころの交流」をテーマに農業体験を受け入れています。またぜひ皆さんでお越し下さい。お待ちしています。